

9 月度会社訪問例会 「株式会社名高精工所」様

9 月 21 日 於 株式会社名高精工所

HILLTOP 株式会社 山本 秀幸

9月21日、会社訪問例会としまして、会員企業で量産の機械加工を得意とされている株式会社名高精工所様の京都本社へ会社訪問させていただき、当日は22名の皆様にご参加いただきました。

第1部では、工場見学と会社概要をご説明いただきました。工場内は24時間無人運転で機械を稼働させる為の様々な工夫がなされており、独自で考えられた治具やロボットアームを駆使し、自動でワークの整列・位置決め・機械内への脱着をする様は、まさに圧巻でした。

量産を主になされる為、見積り段階から新たな工作機械の導入、作業効率、コストを考えてのロボットの導入、またそれらを約5年で償却出来る計算をされておられ、工場を拝見させていただき、いかに効率よく生産性を高めておられるのを目の当たりにし、わかりやすく大変勉強になりました。



第2部では、第29期・30期の代表幹事を務められました、専務取締役の名高新悟様に、ご自身が気づき変化していったきっかけ、気づきから行動を起こし、そしてどのようにご自身と会社が成長してこられたのか、お話いただきました。

進行は「名高専務を掘り下げる」と題し、ファシリテーターと参加者から質問をし、名高専務にお答えいただくという形で行いました。

- ・機青連に入っていなければ、今の自分はなかったこと。
- ・機青連で同じ志を持った仲間が沢山でき、人と人との繋がりから、多くの刺激、学び、気づきを得たこと。

など、他にも沢山の質問にご回答いただき、参加された皆様におかれましては、沢山の刺激や気づきを得られたことかと思えます。

また、今後の機青連へのメッセージとして、機青連は仲間との出会いの場であり、仲間と共に育ち合い、変化を恐れず行動し、自身も変化する場である。そして幹事は、会員様のお世話役であり、精一杯汗をかき泥臭く会を運営して欲しい。と、今期機青連の年間テーマである”一志相伝”に相応しい大切なお言葉をいただきました。



最後になりましたが、お忙しい中会社訪問例会を快く引き受けてくださいました名高専務、工場見学をお手伝いいただきました笹部様、誠にありがとうございました。